

一般県道石垣空港線(アクセス道路)の全区間4車線化を求める要請決議

八重山郡民悲願の新石垣空港(南ぬ島空港)が平成25年3月7日に開港し、国道390号線や、新空港へ通ずる農道等においては交通量の増大により、周辺集落での混雑や事故の増加が懸念されております。

このような中、沖縄県は八重山圏域における物流及び交流の活性化に寄与するとともに、既存道路の混雑や事故の低減を図るため、一般県道石垣空港線(アクセス道路)を早急に整備する必要があるとして、4車線3.6キロメートル、2車線(片側歩道)1.6キロメートル、2車線(歩道なし)4.2キロメートル、総延長8.8キロメートルのアクセス道路を計画しております。

しかし、片側2車線が1車線に合流することは逆に交通渋滞を招き、事故の危険性が高まることは容易に予想されます。また、3.11大震災において仙台空港が津波の被害を受けたことを考えると、空港利用者の高台への避難道路が1車線では安全上心もとなく、緊急車両も通れない状況になることが危惧されます。

よって、当市議会は当該路線を全区間4車線とし、歩道についても全区間の設置を強く要請いたします。

以上、決議する。

平成 25 年 3 月 21 日

沖縄県石垣市議会

あて先

国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄県知事、沖縄県議会議長、
県選出国會議員